

科目名	建築概論	英語科目名	Introduction to Architecture
開講年度・学期	平成24年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科1年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	履修単位(30時間単位)
担当教員	前期:大島、尾立 後期:本多・横内、佐藤	居室(もしくは所属)	建築学科棟2、3階
電話	0285-20-2844(大島) 、2835(尾立)、2838(本多)、 2837(横内)、2833(佐藤)	E-mail	o-shima@oyama-ct.ac.jp orvu@oyama-ct.ac.jp y.honda@oyama-ct.ac.jp yokouchi@oyama-ct.ac.jp a-sato@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標		授業達成目標との対応	
		小山高専の 教育方針	JABEE 基 準要件
①大島担当 1. 建築(学)で学ぶ・知るべき事項を知る。 2. 建築物、建物の面積、階数を知る。		③	
②尾立担当 建築の幅広さを理解する。		③	
③構造担当 建築の一生を知り、建築を支える構造の概略を理解する。		③	
④佐藤担当 地球環境や都市環境・室内環境と建築の関係を知り、それを支 える建築設備を理解する。		③	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
大島担当 達成目標①のうち、1はレポート等提出の内容により、2は中間試験により評価する。			
尾立担当 達成目標②は、建築の種類を表現できる。			
構造担当 達成目標③は、レポートの内容により評価する(基準の60%以上)。			
佐藤担当 達成目標④は、レポート内容がとなる基準の60%となる内容を最低基準とする。			
評価方法			
大島担当 レポート評価(50%)と、中間試験評価(50%)とする。			
尾立担当 数回のレポートの内容で評価(100%)する。			
構造担当 数回のレポートの内容で評価(100%)する。			
佐藤担当 授業中の小レポート(60%)、および期末レポート内容(40%)の割合で評価する。			
4名の採点を平均し、学年末成績とする。			
授業内容			
大島担当			
1.建築学科のモノづくり紹介・授業(スライド)／建築学科とは？			
2.建築学科のモノづくり紹介・課外(スライド)／就職、建築士			
3.デザコン紹介(スライド)／教科書より建築とは？			
4.有名建造物・建物をあげよう！(みんなで黒板に書く)／ネットで検索			
5.自分の家の平面図立面図をスケッチする／建物面積を計算する			
6.図面の種類(教科書)－学校の設計図書を見ながら			
7.製図道具、製図・設計材料の説明(教科書)／建築物紹介(雑誌)			
【前期中間試験】(建築物の名前等と建物面積や階数算定)			
尾立担当			
1. 建築家「西沢立衛」夢の美術館			
2. 建築20世紀			
3. 建築家「伊東豊雄」			
4. 建築家無しの建築、遺跡			
5. 4大文明 エジプト、中国			
6. メソポタミア、インダス			
7. 中国			
【前期末試験】			
構造担当			
1. 建築の一生			
2. 建物を造る－1			
3. 建物を造る－2			
4. 建物に作用する力と要求される性能			
5. 多様化する構造形式－1			
6. 多様化する構造形式－2			
7. 建物を造る－3			
8. 建物を造る－4			
【後期中間試験】			
佐藤篤史担当			
1. 建築と環境、設備技術とは			
2. 気候風土と建築の形態			
3. 環境問題と建築(1)地球環境問題・都市環境問題と建築技術			
4. 環境問題と建築(2)住まいと健康・シックハウス問題			
5. 建築の色彩・照明、空間と心理			
6. サイン環境とユニバーサルデザイン			
【学年末試験】			
7. 建築設備の新しい技術			
キーワード	建築、図面、世界の都市、生活、日本の家・まち、法律、建築の一生、建築構造、環境、設備		
教科書	特になし。必要に応じプリントを配布。		
参考書	---		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	---		
現学年の関連科目	創造演習Ⅰ		
次年度以降の関連科目	建築を学ぶ全ての科目に関連する。		
連絡事項			
4名の担当教員で授業を行うため担当教員によって授業方法や採点方法が異なる。建築に関連する知識を深めるため日頃 から周囲の風景や建築物に気を配るように心懸ける。			
シラバス作成年月日	平成23年3月31日		